

7月6日に新潟地方気象台が発表した1か月予報（7月8日～8月7日）では、向こう1か月の気温は高く、降水量は並～多、日照時間は並の見込みです。

現在、倒伏に大きく影響を与える下位節間が伸長する時期を迎えており、天候や生育状況を注視し、適正な穂肥で収量・品質を確保しましょう！

## 稲作技術情報

# 出穂期予想を参考に、気候に合わせた本田作業を行いましょ！

## ○コシヒカリ BL 出穂期予想（7月5日現在 アグリルックより）

地域	田植日	出穂期予想	穂肥施用時期の目安	
			1回目時期 幼穂長0.5～1.0cm (出穂18日前後)	2回目時期 葉耳間長0cm (出穂10日前)
平坦地	5月10日	8月1日	7月14日	7月22日
	5月15日	8月2日	7月15日	7月23日
	5月20日	8月5日	7月18日	7月26日
	5月25日	8月7日	7月20日	7月28日
	5月30日	8月9日	7月22日	7月30日
高標高地 (400m 程度)	5月15日	8月7日	7月20日	7月28日
	5月20日	8月9日	7月22日	7月30日
	5月25日	8月11日	7月24日	8月1日
	5月30日	8月13日	7月26日	8月3日

- ・ 出穂期予想は、今後の気象条件等によって前後する場合があります。
- ・ 出穂間際で極度の退色（SPAD32以下）がある場合は、3回目の穂肥検討が必要です。出穂後の窒素施用は、玄米蛋白質の上昇が懸念されますので、普及センター・JA営農指導課までご相談ください。（基肥一発肥料施用圃場も含まれます）

## ○出穂期とは

幼穂が茎の中から現れ、1粒以上籾が確認できる状態であり、圃場の40～50%が出穂した時期が出穂期となります。

コシヒカリの収穫適期は、出穂後からの積算温度が1,000℃（約45日後）に達した頃になるため、各圃場の出穂期を把握するように努め、適期刈り取りにつなげましょう。

【出穂直後の稲の様子】



低い位置での出穂も踏まえ、正確な出穂期把握に努めましょう。

## ○薬剤防除について

北陸地域 3か月予報（7月～9月）

平均気温（3か月）	降水量（3か月）
低20% <b>並40%</b> 高40% 平均並みか高い見込み	低20% <b>並40%</b> 高40% 平均並みか多い見込み

※平均気温・降水量ともに、並～高予報となっており、病害虫の発生が懸念されることから、事前に病害虫防除に取り組み予防に努めましょう。

病名	薬剤名	散布量(10a当り)	散布適期
いもち病	ブラシン	粉剤DL	3～4kg
		フロアブル	1,000倍液 60～150ℓ
稲こうじ病	Zボルドー粉剤DL	3～4kg	出穂20日前～10日前まで
紋枯病	バリダシン粉剤DL	3～4kg	出穂10日前頃～出穂直前
	モンガリット粒剤	3～4kg	出穂21～14日前頃

※ボルドー剤は、「出穂10日前以降」また「朝露、夜露が付着している時」は薬害リスクがあるため散布しないでください。

※農薬を使用する際は、必ずラベルを確認し、登録内容を厳守してください。

## ○水稲除草剤の使用時期（期日）について

水稲中後期剤における、使用時期の晩限が迫ってきております。薬剤のラベル等や下記の表を参考に使用時期内に散布してください。

品名	使用時期(収穫前日数)
クリンチャーEW	30日前まで
ワイドアタックSC	30日前まで
アレイルSC	45日前まで
ロイヤント乳剤	45日前まで
クリンチャーバスME	50日前まで
トドメ	粒剤・乳剤 50日前まで
バサグラン	粒剤 60日前まで
	液剤 50日前まで
ゲパード1キロ粒剤	60日前まで
ノミニー液剤	60日前まで
ウィードコア1キロ粒剤	60日前まで

【収穫日からの逆算表】

収穫前日数	収穫日		
	9/5	9/10	9/15
30日前	8/6	8/11	8/16
45日前	7/22	7/27	8/1
50日前	7/17	7/22	7/27
60日前	7/7	7/12	7/17

※残留農薬として、基準値を上回る値が出る可能性がありますので、収穫前日数による使用日は順守願います。

次号「あぜみち」予告

- 稲作…登熟期間の水田管理と本田内防除について
- 園芸…秋野菜の作り方について

ご不明な点がございましたら、JAみなみ魚沼営農指導課  
(アグリセンター大和 :Tel777-3786 しおざわ基幹センター :Tel782-1171)  
までお問い合わせください。